

がくしゅうかだい（２年生）



【こくご】けいかくをたててすこしずつとりくんでいきましょう。

＜べんきょうすること＞「スイミー」（きょうかしよ 64～73 ページ）

- (1) このお話の中で、どんなことできごとがおこりますか。下のひょうをさんこうに、ノートやとりくみシートにまとめましょう。

ページ	できごと・スイミーがしたこと など
66～67 ページ	・おそろしいまぐろがつっこんできた。 ・まぐろは、魚たちをのみこんだ。 ・スイミーは、まぐろから（ ）
68～69 ページ	・海のおもしろいものを見て、スイミーは、だんだん（ ）
70～71 ページ	・スイミーは岩かげに、（ ）を、見つけた。 ・スイミーは、「出てこいよ。」とさそいましたが、小さな赤い魚たちは、「大きな魚に食べられてしまう。」とスイミーに言った。 ・スイミーは、（ ）
72～73 ページ	・スイミーは海で（ ）をして、みんなでいっしょにおよぐことをおもいついた。 ・スイミーは、みんなにおしえてれんしゅうした。 ・みんなはおよぎ、（ ）

- (2) まえの回で学しゅうしたスイミーのしょうかいと、(1)でまとめたことをつかって、「あらすじ」をかきます。お話を知らない人にもつたわるように、お話をしょうかいする文しょうをかきましょう。
※75 ページにあらすじのれいの一ぶがのっています。

- (3) このお話には、できごとのようすが分かることばがでできます。「～ような」「～みたい」などのたとえをあらわすことばを、きょうかしよから見つけて、そうぞうしたこともかきましょう。

れい にじいろのゼリーのようなくらげ

ゼリーのすきとおったきれいなくらげがそうぞうできる

◆あたらしいかん字「知～室（78 ページ～）」に、とりくみます。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

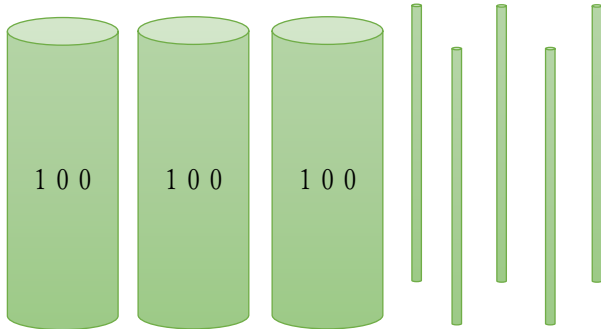
- ・お話を短くまとめた「あらすじ」を書くために、出来事を短い文章に表していきます。この短くまとめた文章をつないで、あらすじを作っていきます。
- ・お話の大事な部分を短くまとめることができれば十分です。この表の通りでなくても構いません。

【さんすう】

「※」は勉強するときの先生からのアドバイスです。

<べんきょうすること>

◆100より大きい数（きょうかしよ 70 ページから 71 ページ）



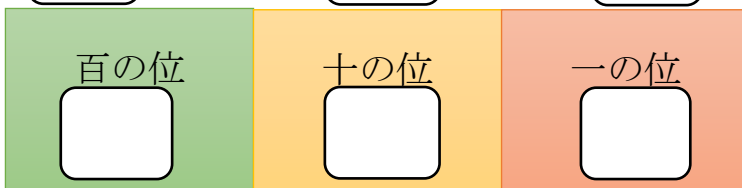
ストローは、ぜんぶで
何本あるでしょうか。

あれ？
10のたばがないけど、
どう表すのかな。



100が こ 10が こ 1が こ

※ストローの数
は三百五で、
305
と書きます。



305の0は、どういう意味なのかな？

<305の0の意味について、おうちの人にお話ししよう。>

<れんしゅうもんだい①> つぎの 数を よみましょう。

- ① 208 ② 902 ③ 110 ④ 670

<れんしゅうもんだい②> つぎの 数を 数字でかきましょう。

- ① 100を 6こと、1を 4こ あわせた数
② 100を 6こと、10を 4こ あわせた数

赤 4 5 9

白 3 8 6

青 4 7 2

何組が かって いるでしょうか。

赤 4 5 9

白 3 8 6

赤組と白組の点数をくらべると、
 組の点数のほうが大きい。

赤 4 5 9

青 4 7 2

赤組と青組の点数をくらべると、
 組の点数のほうが大きい。

※数の大小は、>、<のしるしをつかって あらわします。

4 5 9 3 8 6

4 5 9 4 7 2

・ 4 5 9 は 3 8 6 より大きい

・ 4 5 9 は 4 7 2 より小さい

<れんしゅうもんだい③> に あてはまる >か <の
しるしを 書きましょう。

① 2 4 3 3 4 2

③ 9 6 1 0 4

② 5 9 8 5 8 9

<この ^{べんきょう}勉強で、わかったことや、きづいたこと、
おもしろかったところを、おうちのひとに お話ししてみよう。>

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆ 100より大きい数（教科書 P70～P71）

- ・ 子どもは三百五を3005や35と書き誤るときがあります。そのような場合は、「位取り板」にブロックを置くなど、3005や35の違いを視覚的に対比することで、空位の0の意味が捉えることができます。

【音がく】^{ばそこん}パソコンなどで、みたりきいたりできるひとは、とりくんでみましょう。

＜べんきょうすること＞

◆音のたかさに気をつけながら、『かっこう』（きょうかしょ 22～23 ページ）をけんばんハーモニカでふきましょう。

(1) 音のたかさに気をつけながら、『かっこう』をききましょう。うたえるようになるまで、くりかえしききましょう。



(2) うたえるようになったら、かいめい（ドレミ）でうたいましょう。



(3) けんばんハーモニカでえんそうしてみましょう。どうがをみながら、いっしょにやってみましょう。くりかえしれんしゅうすると、できるようになりますよ。



(4) かっこうのなきごえのようにふくには、はじめの「ソ・ミ・」をどのようにふけばよいでしょうか。



また、なめらかにうたうかんじでふくためには、どんなふきかたがよいでしょうか。



23 ページをみたり、ふいたりしながらかんがえてみましょう。（どうがをみてかんがえましょう。）

(5) 音のたかさに気をつけながら、うたうようなかんじで『かっこう』をふきましょう。



＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・舌で音を切る「タンギング」は、3年生から学習するリコーダーにおいても大切な技能です。弾く楽器ではなく、吹く楽器であることを意識して、「トゥートゥートゥー」と、舌で音を切って演奏できるように、アドバイスをしてあげてください。また、強く鋭い音よりも、柔らかく優しい音を出せるよう、丁度よい息の量で演奏することも大切です。

【ずがこうさく】

＜べんきょうすること＞

◆「ときめきコンサート」（きょうかしょ 39 ページ）

- (1) きょうかしょ 39 ページを見て、つかいたいざいりょうを集めよう。
- (2) 音になる「がっきのもと」を、下から一つえらんでつくってみよう。

ふってならす
がっきのもと

うったり・たいたりして
ならす がっきのもと

はじいてならす
がっきのもと

こすってならす
がっきのもと



どんな音になるのか、ためしながらかつろう。

どうがも さんこうにしてね！



※学校に持って行ったときに、「がっきのもと」につけたしたり、ちがうがっきをつくったりしよう。（つくった「がっきのもと」は、とっておいてね。）

※学校で、音楽にあわせて音をならし、みんなで「ときめきコンサート」をひらこう！

ようぐ

- ・はさみ ・のり ・セロテープ ・ガムテープやビニールテープ
- （はさみは、おうちの人がいるときに つかいましょう。）

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

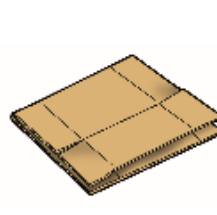
- ・作りながら、音が鳴る仕組みを知ることが大切です。（「容器に物を入れて振ると、入れた物によって音が変わる」、「ゴムをはじくと音が鳴る」、「物によって叩いた時の音が違う」など）
- ・教科書や下のイラストにあるような材料があると活動が広がります。家にあるもので使ってよいものを用意してあげてください。
- ・4種類の楽器の作り方動画を用意しました。参考にしてみてください。



空き缶やペットボトル



あき箱や空き容器



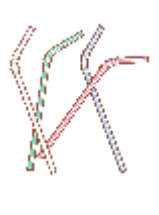
板ダンボール



わりばし



わごむ



ストローなど

【たいいく】

けがをしないよう、まわりをよくたしかめて取り組みましょう。

＜べんきょうすること＞

※さんこう動画

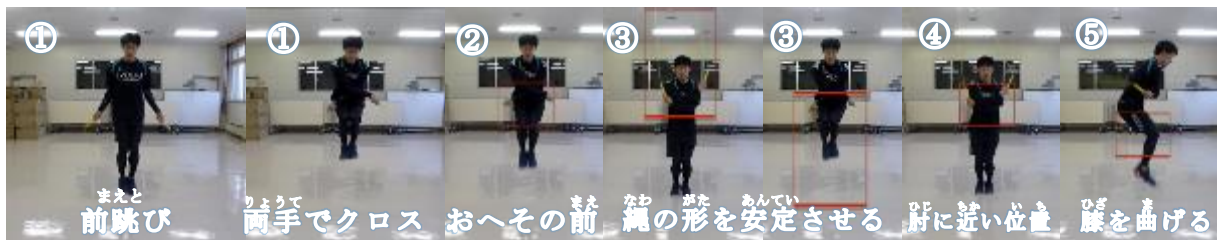
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/nawatobi.html>



◆「なわとび」にとりくみましょう。

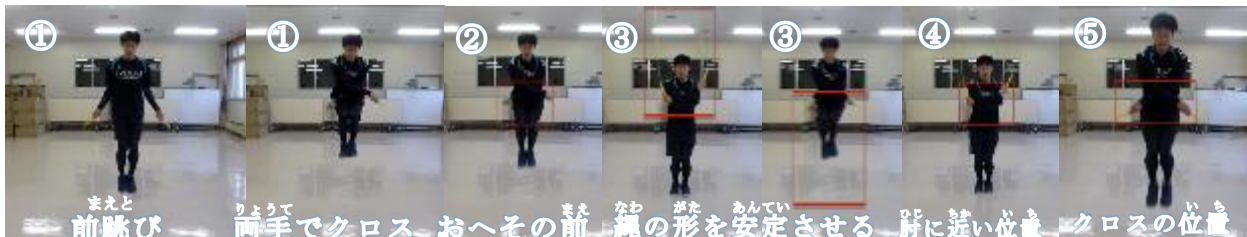
あやとびにちょうせんしましょう。ひとつずつくりあしていくと、あやとびやこうさとびができるようになりますよ。

○あやとびのとびかた



①あやとびは、まえとびを1かいとんだあとに、りょうてでなわをクロスしてとび、これをくりかえすとびかたです。あやとびのゴツは、②なわをおへそのま前でクロスさせます。③かいてんしているなわのかたちがあんていすると、じょうずにとべます。④てくびではなく、ひじにちかいいちでクロスをつくると、なわのかたちがあんていします。⑤ひざをまげてとぶと、なわにひっかかりにくくなるので、ためしてみてください。

○こうさとびのとびかた



①こうさとびは、まえとびをなんかいとんだあとに、りょうてでなわをクロスしてとびつづけるとびかたです。こうさとびのゴツは、あやとびのゴツとにいて、②なわをおへそのま前でクロスさせます。③かいてんしているなわのかたちがあんていすると、じょうずにとべます。④てくびではなく、ひじにちかいいちでクロスをつくり、しっかりとてくびをまわします。⑤クロスのいちがたかにならないようにきをつけます。

◆れんぞくなんかいとべたかや 30 びょうでなんかいとべたかをかぞえてみよう。

※くりかえしとりくむとじょうずになるので、たくさんチャレンジしてみてください。どうかでは、あやとびとこうさとびのはってんわざをしようかしています。

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・跳んだ回数を数えてあげたり、頑張りを認める声かけをしたりしてください。